

令和 5 年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	三原市議会公明党
議 員 名	児玉 敬三 高原 伸一
議員派遣先名	三原市議会公明党会派室

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
研修・研究費	30,000 円	受講料 2 人分（オンライン受講）
研修・研究費	880 円	振込手数料
合 計	30,880 円	

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

<p>全国で 30 万人に迫る、増加傾向にある不登校児童・生徒の支援への取り組みについて、本市の不登校児童・生徒の増加と共に支援体制の整備・改善、家族会の構築、支援・情報提供等の体制作りに向けて、厚生文教委員会が目指す政策提言のテーマ「仮称・不登校支援について」の参考にすべく受講した。</p>

2 実施概要（1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	三原市議会公明党会派室
令和 6 年 1 月 24 日 10:00 ~ 13:00	担 当 部 局	株式会社 廣瀬行政研究所
報 告 内 容 ・ 所 感	<p>オンライン受講 講師：池上正樹氏 特定日営利活動法人「KHJ 全国ひきこもり家族会連合会」副理事長・ジャーナリスト テーマ「（仮）子どもの不登校・ひきこもりについて」であったが、1月1日発生した能登半島地震をうけ「ひきこもり本人の心情から見える能登半島地震の実態と日常の学校現場の課題」に変更され開催された。 能登半島における災害時の状況（珠洲市）</p>	

「大事なものは、普段からのつながり」

・家は安心安全な居場所であるが、どこにもつながりがないといざという時、安否確認ができない。ひきこもりは悪いことではないが、命を守ることと、普段の準備が大事。しかし本人・家族に迫るのではなく、問われるのは周囲の認識、関わり方にある。

・きっかけをつかみ、動き出すためのカギは、みなが災害時にはフラットな立場にあり、動き出すタイミングがあり、ひとのためという使命感が必要である。日常的にフラットな関係性は関わる周囲の人にとって大事なことである。

・ひきこもり・不登校は病名でなく状態像、その心情であり他者との関係を遮断しての生活であり、ひきこもる行為は自死ではなく、生き延びようとしている証である。

・家族は、本人が生き延びるために選択肢を届ける役割を担い、家族が元気になることが、本人の尊厳の回復にもつながる。

「不登校とひきこもり」

・起因は学校時代の体験に遡る人が多い。不登校が原因でひきこもりになるわけではなく、なぜ不登校に至ったのかを一緒に考えることが大事。

・親に心配させたくないという子の優しさから親は気付かない。学校に行けなくなるのは理由がある。

・不登校かどうかで見るのではなく、その子の個性を見て、選択肢を作ってあげ伸ばしてあげる。

・興味あるところを伸ばしてくれる人がいると、子どもは安心でき、理解ある大人、自分が居てもいい場所、緊張しなくてもいい環境が大事。

・同じような経験をした仲間とつながることは非常に効果的であり“ひとりじゃない”ということがわかるだけで、ほっとできる。

・ひきこもり状態→医療につなげる支援が中心であったが、病気や障害ではない。何をもちて“好転”“成果”なのか？答は1つではない。ひきこもりは1人1人違い、1人の成功事例のPRは絶望モデルになりうる。

「内閣府実態調査 2022」

今のあなたにとって居場所（ホットできる場所、居心地の良い場所）

そう思う+どちらかというと思う回答者

・家庭：87.0%

・自分の部屋：84.3%

・インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）
56.6%

・地域（図書館、公民館、公園など）：50.6%

・学校&職場：“そう思わない”のほうが上回った

市政に活かせること（まとめ）	<p>今回の受講は、テーマの変更はあったものの不登校・ひきこもり共に共通する課題の中で参考となる多くの示唆を得ることができた。不登校の児童・生徒の最も居心地の良い場所は家庭であり、自分の部屋との回答結果であるが、次いでインターネット空間、地域の%も高い回答率である。</p> <p>同じような経験をしている仲間とのつながり、ひとりじゃないという安心感を生む居場所の環境整備が必要である。現在の市内のSSR、学校ふれあい教室、教育支援センター三原ふれあい教室、本郷分室、令和6年度に新設される北部分室（大和町）、民間のフリースクールへの支援、勉強スペースと家庭的な居心地のいい環境の整備をおこない理解してくれる大人との人間関係のなか、緊張しなくていい居場所の構築が急務である。</p> <p>ひきこもり・不登校支援について、支援を求める人、支援をする人共にみな当事者であり、誰もが幸せを求めて生きる権利を持ちひきこもり・不登校の人たちが、生きやすい社会を築いていく努力をしていかなければならない。</p>
----------------	---

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること